

参加者用資料

○企画名：

「ディベート王におれはなるっ！！」

～ド〇えもんは必要な存在か？～

○提案者

古瀬 清郁

○目的：

ディベートとは議論を戦わせるゲームであり、スピーチ力や説得力、情報処理能力などの様々な力を必要とする。また、それらの力は社会人として世に出たときにも求められる。九工大ではPBLなどの自分達で考えて発表を行うような授業形態はあるものの、大きく二つの立場に分かれてディベートをするような機会は少なく感じる。本企画を通して、ディベートのやり方やコツを学ぶだけでなく、コロナ禍で薄くなっている人と人とのつながりを感じられるようにすることを目的とする。

○企画の内容：

(企画概要)

議題「ド〇えもんは必要な存在か？」についてディベートしていただきます。皆様には事前に議題を伝えていただきますので、“両方の意見”を予め準備していただきます。当日、参加者はどちらかの立場に“ランダム”で割り振られます。オンラインでグループに分かれて意見をまとめてもらい、ディベートのフォーマットに乗っ取って議論していただきます。以下にそのフォーマットを示します。

<肯定>=必要である	<否定>=必要でない
立論(5分)	
準備(2分) 質疑(3分)	準備(2分) 質疑(3分) 立論(5分)
準備(2分) 反駁(4分)	準備(2分) 反駁(4分)

合計：32分

最終的に第三者である審査員に勝敗を決めていただいて、企画は終了です。

(企画詳細)

フォーマット内の詳細を以下に示します。

「立論」：自分達の立場や根拠を示す。＝なぜ賛成・反対なのかを説明する。

「準備」：グループごとに意見をまとめる。

「質疑」：相手の立論に対してわからなかったところを質問する。※質問者が相手に対して反論をする場面ではない。

「反駁」：相手の立論や質問の内容に反論する。しかし、あくまで自分達の議論を守るのが主旨であり、相手の立論を攻撃する場ではない。

➡**ルール詳細は別途添付された「簡易ルールブック.pptx」を確認していただきます。**

(当日の流れ)

①ルール説明(古瀬)：5分

➡事前に説明資料は配布されておりますので、当日は簡単な流れの説明と注意事項のみとなります。

②グループ分け&準備(古瀬)：15分

➡zoomのブレイクルーム機能を用いて参加者をランダムに2つに分けます。

➡ブレイクルームに入ってもらい、意見をまとめていただきます。

③休憩：5分

④ディベート開始(司会：古瀬)：35分

➡「準備」の際には再度ブレイクルームに入っていただき、意見をまとめていただきます。

➡基本的には代表者を一人決めて話していただきます。

➡本来では混乱を避けるためにNGですが、本企画では途中で代表者を変えてもOKとします。※ただし、時間は厳守です。

⑤審査：5分

➡勝敗発表 ※説得力があった方が選ばれます。

⑥終了のあいさつ(古瀬)：数分

○場所：

オンライン(ブレイクルーム機能を考慮してzoomでの開催を検討しております。)

○日時：

1/14(木) 16:00~17:00

○必要なもの：

- ・ zoom ができる PC や iPad 等
- ・ インターネット環境
- ・ 賛成意見 & 反対意見 (どちらも準備していただきます)
- ・ メモ用紙 (任意)